



戸田市 スマートウェルネス シティ推進プラン 概要版

第4次戸田市健康増進計画

第3次戸田市食育推進計画

第2次歯科口腔保健推進計画

第2次自殺対策計画

がん対策推進計画



令和6年3月

戸田市スマートウエルネスシティ 推進プランの概要

全国的な少子高齢化のなか、戸田市の人口はいまだに増加しており、平均年齢が県内で最も若く、高齢化率も県内で最も低いものとなっております。一方で、高齢者人口の増加に伴い、要介護認定者数、要介護認定率は増加しており、前期高齢者一人当たりの医療費は県内でも高く、健康寿命は県内でも短いという状況にあります。

市では、「戸田市3大プロジェクト」に「100年健康」を位置づけ、健康寿命を延ばし、人生100年時代を豊かに過ごせる健康なまちづくりに取り組んでいますが、その実現には、運動や生活習慣の改善、社会や地域とのつながり、健康意識の醸成など子どもから高齢者に向けてさらに取り組んでいく必要があります。

そのような状況を踏まえ、スマートウエルネスシティの理念のもと、健康に関する様々な課題に対する効果的な施策を実施し、行動変容を促すことで市民の健幸*づくりを推進する、戸田市スマートウエルネスシティ推進プラン（以下「SWC推進プラン」という。）を策定します。

SWC推進プランは、都市整備分野、健康・福祉分野などの関連する計画等と整合・連携を図り、各関係部局が所管する施策・事業を健康に資する取り組みとして実施していくための指針です。

計画の推進により、市民がまちなかを自然に「歩きたくなる」・無意識に「歩かされてしまう」ことで偶然の出会いを誘発し、多様な価値観を持つ人々が出会うことで、寛容性豊かな市民意識を醸成し、結果的に心身共に健幸になれるまちづくりを目指します。

*健幸…身体面の健康だけでなく、人々が生きがいを感じ、安心安全で豊かな生活を送れること

基本理念

まちなかを自然に歩きたくなることで、多世代の集いと交流が生まれ、生きがいを感じながら健幸に暮らすことのできるまちづくり

6つの柱

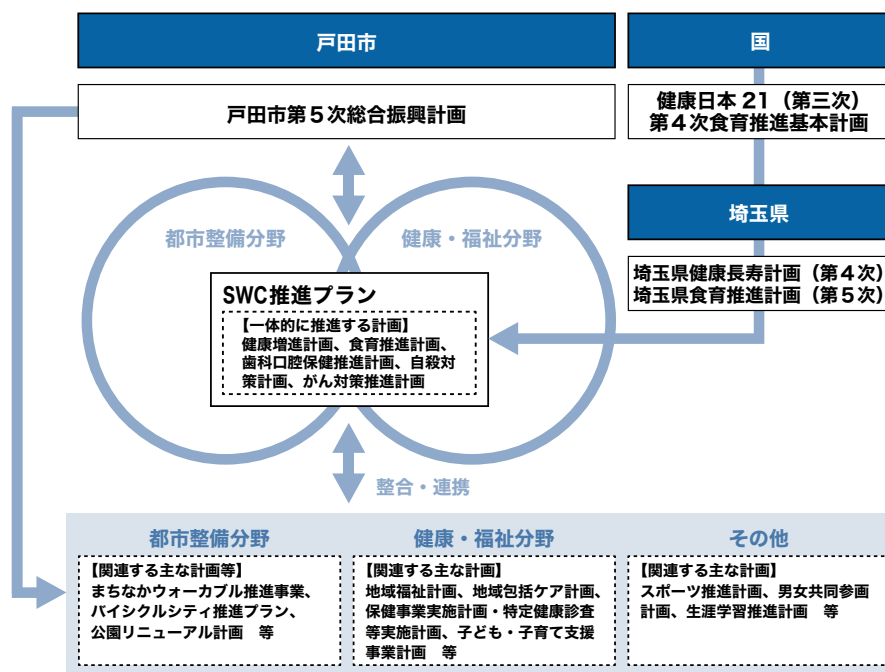
SWC 推進プランは、以下に掲げる、エビデンスに基づく6つの柱を中心に推進していきます。

- I. まちなかウォークابلとバイシクルシティの推進
- II. 市民が自ら健康に取り組む環境整備
- III. 市民協働による健康リテラシー*の向上
- IV. 次世代に向けた女性の健幸と子育てに優しいまちづくり
- V. いくつになっても生きがいを持ち外出できる環境整備
- VI. 多世代交流を促進する健康なまちづくり

*健康リテラシー(ヘルスリテラシー)…健康に関する情報を取得し、それを活用する知識や意欲及び能力のこと

計画の位置付け

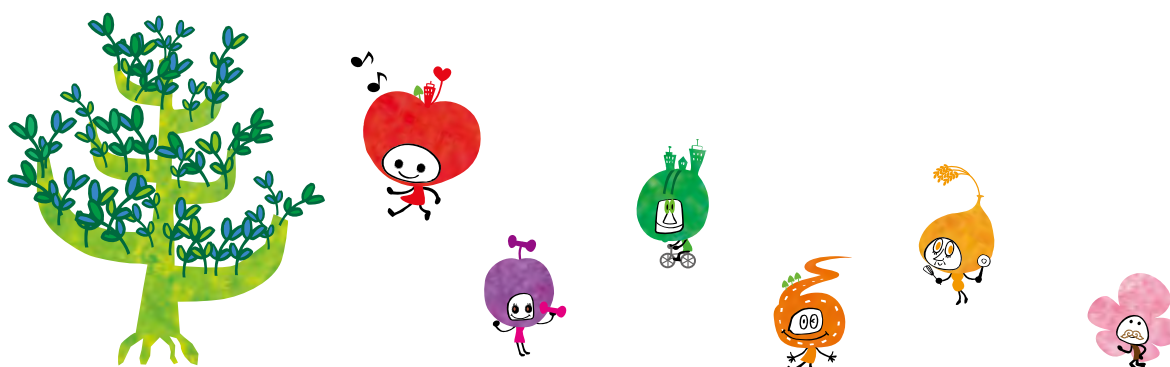
SWC 推進プランは、「戸田市第5次総合振興計画」を上位計画に、国及び埼玉県の基本的な方向性を踏まえて策定された5つの計画(①健康増進計画、②食育推進計画、③歯科口腔保健推進計画、④自殺対策計画、⑤がん対策推進計画)と、都市整備分野と健康・福祉分野などの関連する計画との整合・連携を図り、スマートウェルネスシティを推進します。



スマートウェルネスシティの実現に向けたSWC推進プランの推進

SWC 推進プランは、市の人口動態や健康寿命などに関するデータの分析結果をもとに、市の特徴等を踏まえた施策・事業に取り組むことで、スマートウェルネスシティの実現を目指します。

柱	市の特徴 等	健康 × 施策・事業の取り組み
I. まちなかウォークブルとバイクシティの推進	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通にアクセスしやすいまち 日常で自転車利用をする人が多いまち 	<ul style="list-style-type: none"> 健康 × まちなかウォークブルの推進 健康 × バイクシティの推進
II. 市民が自ら健康に取り組む環境整備	<ul style="list-style-type: none"> 運動習慣の無い人の割合が約6割 身近に公園があるまち 	<ul style="list-style-type: none"> 健康 × インセンティブ 健康 × 公園利活用
III. 市民協働による健康リテラシーの向上	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくりに関心の低い層が約7割 健康寿命が県平均よりも短い 主な死因は生活習慣病の割合が多い 	<ul style="list-style-type: none"> 健康 × 口コミ 健康 × イベント 健康 × 健康データの利活用
IV. 次世代に向けた女性の健幸と子育てに優しいまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 20～40歳代の女性の運動習慣が少ない 3世代世帯の割合が減少している 	<ul style="list-style-type: none"> 健康 × 若年層女性・子育て世代 健康 × つながり
V. いくつになっても生きがいを持ち外出できる環境整備	<ul style="list-style-type: none"> 1人暮らしのシニアが増加している 豊富な生涯学習のメニューがある 70歳代になると外出頻度が低下する 	<ul style="list-style-type: none"> 健康 × 通いの場 健康 × 生涯学習 健康 × 社会参加
VI. 多世代交流を促進する健康なまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの運動習慣定着の取り組みを進めている 3世代世帯の割合が減少している 	<ul style="list-style-type: none"> 健康 × 運動・スポーツ 健康 × 多世代の交流



目指すまちづくり

SWC 推進プランでは、6つの柱を軸に各関連計画における施策、事業を実施することで、基本理念の「**まちなかを自然に歩きたくなる**ことで、多世代の集いと交流が生まれ、**生きがいを感じながら健幸に暮らす**ことのできるまちづくり」を進め、スマートウェルネスシティの実現を目指します。

目標1 まちなかを自然に歩きたくなるまち

健康増進のための行動変容（歩く、外出する）を促すしかけとまちなかの整備、それぞれを融合して推進することで、自然に歩きたくなるまちの実現を目指します。

【取り組みの軸となる柱】

- 柱Ⅰ「まちなかウォークابلとバイシクルシティの推進」
- 柱Ⅱ「市民が自ら健康に取り組む環境整備」

指標	当初値	目標値
戸田市を歩きたくなるまちと思う人の割合	53.4 %	65.0 %
週5日以上外出する人の割合	73.2 %	80.0 %

関連指標① 週2回・1日30分以上身体を動かしている人の割合 79.2 % ➔ 85.0 %

【健康増進計画】

- 関連指標② 歩くことを心がけている人の割合【健康増進計画】 65.1 % ➔ 75.0 %
- 関連指標③ とだウェルネスマイレージ事業参加者の割合 — 10.0 %
- 関連指標④ 通勤通学時の自転車利用者の割合【バイシクルシティ推進プラン】 38.6 % ➔ 41.0 %

目標2 生きがいを感じながら健幸に暮らすことのできるまち

健康リテラシーの向上を図る取り組み、交流促進による楽しみ・生きがいを創出することで、生きがいを感じながら健幸にくらすことのできるまちの実現を目指します。

【取り組みの軸となる柱】

- 柱Ⅲ「市民協働による健康リテラシーの向上」
- 柱Ⅳ「次世代に向けた女性の健康と子育てに優しいまちづくり」
- 柱Ⅴ「いくつになっても生きがいを持ち外出できる環境整備」
- 柱Ⅵ「多世代交流を促進する健康なまちづくり」

指標	当初値	目標値
健康だと感じている人の割合	77.1 %	85.0 %
楽しみ・生きがいがあると感じている人の割合	—	85.0 %

関連指標① ところが健康だと感じている人の割合【自殺対策計画】 77.1 % ➔ 80.0 %

関連指標② バランスのよい食事を摂っている人の割合【食育推進計画】 54.6 % ➔ 70.0 %

一体的に推進する5つの計画

健康づくりの推進 (健康増進計画)	
基本理念	全ての市民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現
主な分野	健康意識、運動、飲酒、喫煙
主な取り組み	健幸アンバサダー事業、各種健(検)診、各種健康教室・イベント等、とだウエルネスマイルージ事業、キッズ健幸アンバサダー、子育て講座や親子講座
主な指標	健康寿命、健康だと感じている人の割合 身体を動かしている人の割合、飲酒する人の割合、喫煙者の割合

SWC 推進プランと連動する主な取り組み

健康 × 口コミによる健康情報の伝達、健康 × 健康データの利活用
健康 × インセンティブ、健康 × 運動・スポーツ、健康 × 若年女性・子育て世代

食育の推進 (食育推進計画)	
基本理念	市民の健康な食生活の実現と、環境や食文化を意識した持続可能な社会の実現
主な分野	食に対する意識、健康を支える「食」、心をつなぐ「食」、循環する「食」
主な取り組み	健幸アンバサダー事業、各種健(検)診、乳幼児健診、各種健康教室、イベント等での普及・啓発、小中学校及び学校給食における食育の取り組み
主な指標	食育に関心を持っている人の増加、朝食を毎日食べない人の減少、家族と一緒に食べる「共食」の増加、環境に配慮した食品を選ぶ人の増加

SWC 推進プランと連動する主な取り組み

健康 × 口コミによる健康情報の伝達、健康 × イベント、健康 × つながり、健康 × 通いの場

歯科口腔保健の推進（歯科口腔保健推進計画）	
基本理念	健康で質の高い生活を営む基盤となる歯科口腔保健の実現
主な分野	歯と口の健康
主な取り組み	歯科健診、各種健（検）診、乳幼児健診、各種健康教室、イベント等での普及・啓発
主な指標	乳幼児・学齢期のむし歯のない人の増加、より多く自分の歯を有する人の増加

SWC 推進プランと連動する主な取り組み

健康 × 口コミによる健康情報の伝達、健康 × イベント、健康 × 通いの場

自殺対策の推進（自殺対策計画）	
基本理念	「誰も自殺に追い込まれることのない社会」の実現
主な分野	休養とこころの健康
主な取り組み	自殺対策事業、小中学校における心の健康学習、各種健康教室、イベント等での普及啓発
主な指標	戸田市の自殺死亡率、こころの相談窓口を知っている人の割合

SWC 推進プランと連動する主な取り組み

健康 × 口コミによる健康情報の伝達、健康 × つながり、健康 × 多世代の交流

がん対策の推進（がん対策推進計画）	
基本理念	誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての市民とがん克服を目指す
主な分野	がん予防・検診
主な取り組み	各種がん検診、各種健（検）診、各種健康教室、イベント等での普及・啓発、医療用補正具購入費補助金、若年がん患者ターミナルケア在宅療法生活支援補助金の交付
主な指標	各種がん検診受診者数の増加

SWC 推進プランと連動する主な取り組み

健康 × 口コミによる健康情報の伝達、健康 × イベント、健康 × 通いの場

計画の期間・評価

SWC 推進プラン及び健康増進計画・食育推進計画・歯科口腔保健推進計画・自殺対策計画・がん対策推進計画の期間は、令和 6(2024) 年度から令和 11(2029) 年度までの 6 年間とします。

なお、取り組みの進捗状況を把握するため、市民アンケート調査を令和 10(2028) 年度に行い、調査結果などに基づく評価を令和 11(2029) 年度に実施します。

計画の評価時期

計画名		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度
SWC 推進プラン		計画の開始				市民アンケート調査	計画の評価
一体的に推進する計画	健康増進計画						
	食育推進計画						
	歯科口腔保健推進計画						
	自殺対策計画						
	がん対策推進計画						



【発行】戸田市 健康福祉部 福祉保健センター
〒335-0022 埼玉県戸田市大字上戸田 5 番地の 6
TEL : 048-446-6484 (代表) FAX : 048-446-6284
E-mail : health@city.toda.saitama.jp
【発行年月】2024 年 3 月